

箱根ビジターセンターの紹介(国立公園に触れる)

箱根は、富士山の裾野から太平洋の伊豆諸島へと広がる富士箱根伊豆国立公園の一部です。富士箱根伊豆国立公園は1936年に指定され、1955年に伊豆半島地域、1964年に伊豆諸島地域が編入されて、二度、拡大されており、日本の国立公園の中で最多の観光客を迎え入れています。火山活動と深い関係があることが特徴で、この地域の構成要素の全てが火山または火山噴火で形成された地質的特性を持つものです。箱根の国立公園として指定されたことにより、パークボランティアがこの地域全体の日頃の清掃や保守活動に従事しています。

看板や道路脇の掲示は、ある程度の審美的要件を満たす必要があり、馴染みのあるコンビニエンスストアを示す看板でさえ、ここでは異なる色彩設計になっています。国立公園を手軽に知る手始めとして、湖尻の箱根ビジターセンターにお立ち寄りください。箱根ロープウェイ桃源台駅の近くにあります。この地域の地図や豊富なハイキングコースの地図を配布しており、地元の動植物の展示を見ることが出来ます。また、インタラクティブなジオラマをじっくり観察して景観の全体を把握したり、自然や火山、箱根の歴史を紹介するビデオを見たりすることが出来ます。

